

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) N.M

所属 (School) 地域保健学域看護学類

学年 (Grade) 1 回

留学先 (Name of overseas institution)

カンタベリー, イギリス

留学期間 (study abroad period)

2/15~3/9

記入日 (Date) 2020/3/19

留学レポート Study Abroad Report

今回私は、春季語学研修に参加し、イギリスのカンタベリーで 24 日間を過ごしました。海外留学やホームステイが初めてだったので渡航前は不安や緊張もありました。カンタベリーでは、月曜日から木曜日は、9 時から 16 時 30 分まで、金曜日は午前中だけコンコルドインターナショナルという英語学校で英語の勉強をしました。1 日目のテストでクラス分けを行いました。私のクラスは、日本人 4 人、サウジアラビア人 2 人、スペイン人 4 人、韓国人 1 人、中国人 1 人と、様々な国籍、文化を持っていました。だからこそ、例えば「たこ焼き」「大阪」などのように日本人同士ならば単語だけでお互い理解することができるようなことも相手にわかりやすく、喩えを使いながら英語で説明することは想像以上に大変でした。授業はわからない点をわからないと言いやすい雰囲気、常に生徒の意見を求めるような感じでした。日本の授業形式とは大きな差異があることを実感しました。金曜日の午後と週末はフリーでした。友達と渡航前から計画を立ててロンドンで観光をしたり、コッツウォルズに行きました。

・コンコルドインターナショナル



・ホームステイ

ホストファミリーの家の周辺は全て形・色が同じ家が多く、何度かどれがホストファミリーの家なのか迷いました。ホストファミリーは週末に私がロンドンに行く予定があると、洗濯の日ではないのにも関わらず洗濯してくださったりとても優しい夫婦でした。また、滞在中には、イタリアからの留学生もホームステイに来ていて、楽しい時間を過ごすことができました。



・ウィスタブル

ケント州の北海岸にある海辺の町に行きました。海辺だけに風が強く、カモメもたくさんいました。ここで、初めて fish&chips を食べました。また、オイスターも有名でした。犬の散歩をしている人が多かったです。イギリスは犬好きの人が多いと思いました。犬を連れて散歩している人に話しかけている光景を何度も目にしました。



・ロンドン

ハリーポッタースタジオツアーやコッツウォルズのツアー参加したり、観光をしたりとイギリスを満喫できた週末でした。日曜日の夕方は、週末は地方の家で家族と過ごし、平日は仕事のためにロンドンのアパートを借りているという人たちがロンドンに向かうため、私が予想をしていなかった大渋滞が起こりました。その日は、ロンドンからカンタベリーに帰るためのコーチを予約していたのですが、時間的にもうそのコーチに乗ることはできないから諦めようと友達と話していました。すると、ツアーガイドさんとバスの運転手さんが、私たちのために、解散場所ではない、ヴィクトリアコーチステーションの目の前でおろしてくださりました。そして、無事に予定通り、予約していたコーチに乗りことができました。思いがけないハプニングと、現地の方々の優しさに触れ、イギリスを留学先に選択して正解だったと確信しました。



最後に

渡航前は多少不安があったけれど、今はイギリスに約3週間留学してよかったと感じています。現地の学校に通い、様々な国籍、宗教、文化、考え方を持つ人々と交流し、ホームステイを通して、現地の食生活、生活習慣に触れて、日本で当たり前のように利用、生活していることが全く普通ではないことを気づかされました。この点に、旅行にはない、留学ならではの醍醐味があると思います。また、学校で多くの友達ができました。今の時代、インターネットの普及により、いつでも連絡をすることができるので、それぞれの国は離れていますが、心の距離は近く感じます。

私は、看護を専攻しています。現代、グローバル化が急速に進行し、日本で働く外国人労働者も増加傾向にあることに伴い、外国人が病院を利用する機会も増加してきています。日本語をうまく話すことができなくても、安心して日本の医療を受けることができるような社会になるためには、もっともっと、個々人が英語における文法だけでなく、リスニング力、スピーキング力を高める必要があると考えます。今後の社会に適応していくためにも、学生のうちに、英語に触れる機会を増やし、様々なことを経験していきたいと感じました。

